

研究大学コンソーシアムの活動について

1. 平成29年度の活動実績について

(1) 全体会議ならびに運営委員会

○全体会議の開催

研究大学コンソーシアムは、平成29年8月4日に、研究大学強化促進事業採択22機関を構成機関として発足した（第1回全体会議開催）。その目的は、研究大学で共通する課題に関する好事例の共有・情報発信である。すべての機関が参加する会議を全体会議とし、年1～2回程度開催することとした。

（議長：山本進一 自然科学研究機構客員教授）

（現在の構成機関は、※1を参照）



第1回全体会議の様子(@KKRホテル東京)

○タスクフォースの設置

第1回全体会議において、構成機関における3つの共通する課題に関するタスクフォースを設置し、検討することとなった。（⇒詳細は、(4)タスクフォースを参照）

○運営委員会の設置

幹事機関（自然科学研究機構）のアドバイザリーボードとして、運営委員会を設置した。（議長：金子修 自然科学研究機構理事）（構成機関は、※2を参照）

○開かれた組織としての研究大学コンソーシアム運営

研究大学コンソーシアムは、研究大学強化促進事業採択22機関に閉じられた組織ではなく、元々、自然科学研究機構を幹事機関として運営していた「大学研究力強化ネットワーク」の構成機関のうち上記22機関以外の11機関についても、構成員に加わることが第1回全体会議において承認され、現在の構成機関は計33機関となっている。

今後の構成機関の拡大の方向性については、本年2月に開催した運営委員会において確認されたが、新たな構成員の参加にあたっては基準を明確にすべきとの意見もあり、3月に開催予定の運営委員会・全体会議において取り上げる予定としている。

(2) 研究大学コンソーシアムシンポジウム

研究大学コンソーシアムに参加する大学等機関を中心とした好事例共有、情報共有の場として、12月6日に「研究大学コンソーシアムシンポジウム（第1回）」(@東京国際交流館)を開催。45機関226名が参加した。

○ワークショップ：「高度専門人材の役割」をテーマに研究戦略立案に関するワークショップを実施

○ポスター発表：21機関が自大学の研究力強化の取組、好事例をポスターで紹介

○メインセッション：

- ・ 講演：黒木登志夫 WPI アカデミーディレクター基調講演 等
- ・ パネルディスカッション：6つの大学の学長または研究担当理事による好事例の紹介と「研究力強化の取組とURAの活用」をテーマとしたディスカッションを実施

※シンポジウム終了後は、情報交換会を実施



パネルディスカッションの様子

(3) ホームページ（広報・情報チーム）

- ・ 岡山大学を座長機関とする広報・情報チームを設置し、ホームページ等を活用した情報発信の取組について、現在準備・討議を行っている。（広報・情報チーム：岡山大学、電気通信大学、情報・システム研究機構、自然科学研究機構）
- ・ ホームページは、平成29年度中に公開予定で準備を進めている。

(4) タスクフォース

全体会議で設置が承認された3つのタスクフォースを設置して活動している。また、タスクフォースの活動の一環として、勉強会も適宜実施している。タスクフォースは、各大学から推薦された各テーマにおける専門家（※）の検討の場となっている。

（※）高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関するタスクフォースについては、執行部側の視点で議論できる者の参加としている。

○高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関するタスクフォース

（座長：自然科学研究機構、26機関が参加）

URA等をはじめとする高度専門人材の内在化や流動化（質保証）に関する課題に関して好事例を共有しつつディスカッションすることとしている。現在、深掘した議論を行うため、タスクフォースメンバーでまずは「論点整理」を行った上で作業部会を設置し（部会長：金沢大学）、具体的な議論に入るところである（第1回目は1月19日に開催）。

○研究分析指標・IR等共通する課題に関するタスクフォース

（座長：大阪大学、26機関が参加）

大学の研究戦略立案のための研究力分析に関する課題を討議し、好事例を共有することとしている（第1回目は12月18日に開催）。1月11日には、コンソーシアム構成機関外も含む32機関42名の参加を得て、「研究力分析の在り方と世界大学ランキングに関する勉強会」を実施した。



第1回国際情報発信に関するタスクフォースの様子

○国際情報発信に関するタスクフォース

（座長：京都大学、23機関が参加）

大学等からの国際情報発信力の強化を一層促進するため、A A A S（米国科学振興協会）とも連携し、EurekaAlert!を国際情報発信プラットフォームとして活用するなどの取組を進めるとともに、好事例等の情報共有を行っている（第1回目は11月10日に開催）。

2. 今後の活動予定

- ・全体会議（年1～2回開催）
- ・各タスクフォースの活動（合議開催のほか、参加者間でメーリングリストも共有しており、これらも活用しながら随時各テーマについて議論・情報共有をすすめていく予定。）
- ・シンポジウム（第2回）の開催（11月頃を想定）
- ・ホームページを平成29年度内に開設し本格運用を開始予定。

※1 研究大学コンソーシアム構成機関

	大学等機関名		大学等機関名
1	北海道大学	18	大阪大学
2	東北大学	19	神戸大学
3	筑波大学	20	岡山大学
4	千葉大学	21	広島大学
5	東京大学	22	山口大学
6	東京医科歯科大学	23	九州大学
7	東京農工大学	24	九州工業大学
8	東京工業大学	25	熊本大学
9	電気通信大学	26	奈良先端科学技術大学院大学
10	新潟大学	27	首都大学東京
11	金沢大学	28	早稲田大学
12	福井大学	29	慶應義塾大学
13	信州大学	30	東京女子医科大学
14	名古屋大学	31	自然科学研究機構
15	名古屋工業大学	32	高エネルギー加速器研究機構
16	豊橋技術科学大学	33	情報・システム研究機構
17	京都大学		

※2 運営委員会構成機関

	大学等機関名		大学等機関名
1	筑波大学	6	岡山大学
2	東京大学	7	九州大学
3	名古屋大学	8	熊本大学
4	京都大学	9	奈良先端科学技術大学院大学
5	大阪大学	10	自然科学研究機構